
類似に願いを託して

白夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

類似に願いを託して

【コード】

N2060P

【作者名】

白夜

【あらすじ】

ある少女の独白。ヤンデレではありません。…多分。

自分の容姿の中でこの髪だけは気に入っていました。
淡い金色の髪。

私がただ一人、愛を乞うた人が気に入ってくれた唯一のものだった
からです。

彼が、唯一愛した人と同じ色の髪。

……似ているという理由でいいから。

刹那でいいから、私を見て欲しかったのです。

愚かしいほど純粹に、愛を切望していました。

向けられる視線が、本当は私など見ていないと解っていても。

彼女と同じ色の髪をどんなに長く伸ばしても。彼女との類似は、増
えないけれど。

それでも目に付くようにこの髪を長く長く伸ばしましょう。

そうすればいつか私も愛されるでしょうか？

もしこの腕を切り落とし、差し出せば愛されるというなら。

私はきつと躊躇わなかったでしょう。

けれど。

愛して欲しかった人は、もういない。

白い、墓標だけが残るこの家で。

残された私はただ独り。

髪を長く、伸ばしましょう。

あなたに愛されたかった私の為に。

いつか他の誰かを愛せるまで。
いつか誰かに愛されるまで。

白い墓標は二つ、寄り添って幸せそうで。

長い髪が、重さを増した。
そんな、気がしました。

(後書き)

精霊と彼女を更新しなかったのですが形にならなかったのでも昔書いたものを手直しして掲載させて頂きました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2060p/>

類似に願いを託して

2010年11月29日03時10分発行